

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	神奈川工科大学
設置者名	学校法人幾徳学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	ホームページ(予算・決算・事業報告) https://www.kait.jp/about/information/biz_report/
収支計算書又は損益計算書	ホームページ(予算・決算・事業報告) https://www.kait.jp/about/information/biz_report/
財産目録	ホームページ情報公表(予算・決算・事業報告) https://www.kait.jp/about/information/biz_report/
事業報告書	ホームページ情報公表(予算・決算・事業報告) https://www.kait.jp/about/information/biz_report/
監事による監査報告(書)	ホームページ情報公表(予算・決算・事業報告) https://www.kait.jp/about/information/biz_report/

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:令和7年度事業計画書 対象年度:2025年度)
公表方法:ホームページ(予算・決算・事業報告) https://www.kait.jp/about/information/biz_report/
中長期計画(名称:長期方針・中期目標計画(2024~2050年度) 対象年度:2024~2050年度)
公表方法:ホームページ(長期方針・中期目標計画(2024~2050年度)) https://www.kait.jp/about/mediumtarget_2025-2050.pdf

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法:ホームページ(予算・決算・事業報告_事業報告書) https://www.kait.jp/about/information/biz_report/
--

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法:ホームページ(認証評価) https://www.kait.jp/about/information/juaa/
--

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業又は修了の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 全学および各学部学科
教育研究上の目的（公表方法：ホームページ（学部学科等の教育目的）） https://www.kait.jp/about/information/aim/
（概要） 教育目的である「考え、行動する人材の育成—社会で活躍できる人づくり—」実現するための 4 項目の教育目標を公表し、その内容を反映した「ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）」「カリキュラム・ポリシー」「アドミッション・ポリシー」を「3つのポリシー」として策定、展開している。
卒業又は修了の認定に関する方針（公表方法：ホームページ（学部学科等の教育目的）） https://www.kait.jp/about/information/aim/
（概要） 教育目的である「考え、行動する人材の育成—社会で活躍できる人づくり—」実現するための 4 項目の教育目標（創造する力、豊かな人間性、コミュニケーション能力、基礎学力）を反映したディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）を、目標とする人材像にも関連づけ大学全体及び学部・学科毎に設定しており、学修成果の評価方法を定めたカリキュラム・ポリシー、大学の入学者受け入れ方針であるアドミッション・ポリシーとともに「3つのポリシー」として冊子及び大学ホームページにて公表している。また卒業に必要な修得単位数等の卒業要件を明記した冊子「履修要綱」にて公開している。（再掲）
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：ホームページ（学部学科等の教育目的）） https://www.kait.jp/about/information/aim/
（概要） カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）として、2023 年度以前入学生については、以下、大学全体の内容および学科毎に定めている。 （2023 年度以前入学生） (1) 基礎力育成を重視した教育 職業人としての基礎力、専門のための基礎学力の向上を重視した教育を行う。 (2) 共通基盤教育と専門教育 全学的な共通基盤教育では、大学での学びへの興味関心を高め、グローバル化する社会に対応した職業人としての素養を身につける教育を行う。それを基盤として、学科の専門教育では、専門分野の知識・技能を理解して活用する力を身につける教育を行う。 (3) 学力にあった教育 学力向上のために多様な演習・課題を課して、一人一人の学力にあった教育を行う。 (4) 創造性を育む能動・体験型教育 主体的に問題解決に取り組む態度と創造性を育むために能動・体験型教育を行う、また総合的な学習経験と創造的な思考力を向上させるユニット型教育を行う。 (5) 得意分野を伸ばす個人指導 セミナー、卒業研究など個人指導によって、一人一人の得意な分野を伸ばす教育を行う。 2024 年度入学生からは、授業に直結する学科階層にて学科毎にカリキュラム・ポリシーを展開している。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：ホームページ（学部学科等の教育目的））
（2023 年度以前入学生）

<https://www.kait.jp/about/information/aim/>

（2024 年度以降入学生）

<https://op.kait.jp/admission/admissionpolicy/>

（概要）

大学全体として以下および、学科毎にアドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）を定め公表している。

神奈川工科大学は、考え・行動する人材の育成 ―社会で活躍できる人づくり― を教育目的としています。この教育目的に基づき、「卒業認定・単位授与の方針」で定めた知識・リテラシー、課題解決力、学習に向き合う力等を「教育課程編成・実施の方針」で定める教育内容・方法等により卒業までに身に付け、工学系・情報系・健康医療系の職業人として社会に貢献しようとする意欲を持つ学生を求めます。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：ホームページ（組織図）

<https://www.kait.jp/about/sosikizu.pdf>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	2 人	—					2 人
工学部	—	42 人	13 人	14 人	5 人	0 人	74 人
情報学部	—	44 人	17 人	21 人	4 人	1 人	87 人
健康医療科学部	—	21 人	14 人	7 人	3 人	11 人	56 人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
0 人		298 人					298 人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		公表方法：ホームページ 学位 https://www.kait.jp/about/joho/kyogakui.pdf 業績 https://cp.kanagawa-it.ac.jp/pr/researcher					
c. F D（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関する事

[illegible]

b. 卒業者数・修了者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数・修了者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
工学部	221 人 (100%)	26 人 (11.8%)	186 人 (84.2%)	9 人 (4.0%)
情報学部	443 人 (100%)	18 人 (4.1%)	399 人 (90.1%)	26 人 (5.8%)
創造工学部	108 人 (100%)	11 人 (10.2%)	93 人 (86.1%)	4 人 (3.7%)
応用バイオ 科学部	78 人 (100%)	11 人 (14.1%)	65 人 (83.3%)	2 人 (2.6%)
健康医療 科学部	135 人 (100%)	1 人 (0.7%)	130 人 (96.3%)	4 人 (3.0%)
合計	985 人 (100%)	67 人 (6.8%)	873 人 (88.6%)	45 人 (4.6%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
主な進学先：筑波大学大学院、東京科学大学大学院、横浜市立大学大学院、北陸先端科学技術大学院大学、奈良先端科学技術大学院大学、埼玉大学大学院、他 主な就職先：トヨタ自動車㈱、日産自動車㈱、㈱SUBARU、本田技研工業㈱、スズキ㈱、ヤマハ発動機㈱、TOPPAN ホールディングス㈱、鹿島建設㈱、高砂熱学工業㈱、㈱さんでん、㈱ミライト・ワン、芝浦機械㈱、㈱荏原製作所、山九㈱、マルハニチロ㈱、カヤバ㈱、㈱オカムラ、㈱村田製作所、日本電設工業㈱、ユニプレス㈱、㈱アマダ、日本ケミコン㈱、スタンレー電気㈱、㈱東光高岳、日本電子㈱、富士通㈱、㈱システナ、㈱DTS、㈱NSD、NSW㈱、楽天グループ㈱、シャープ㈱、NEC ネットエスアイ㈱、サイボウズ㈱、ホーチキ㈱、日本調剤㈱、前澤工業㈱、㈱神奈川新聞社、日本ケミコン㈱、アマノ㈱、東海大学医学部附属病院、北里大学病院、東名厚木病院、横浜市立みなと赤十字病院、厚木市立病院、昭和大学病院、聖マリアンナ医科大学病院、横浜第一病院、他				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業又は修了する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業・修了者数	留年者数	中途退学者数	その他
工学部	269 人 (100%)	191 人 (71.0%)	41 人 (15.2%)	29 人 (10.8%)	8 人 (3.0%)
情報学部	492 人 (100%)	395 人 (80.3%)	41 人 (8.3%)	44 人 (8.9%)	12 人 (2.4%)
創造工学部	135 人 (100%)	101 人 (74.8%)	22 人 (16.3%)	9 人 (6.7%)	3 人 (2.2%)
応用バイオ 科学部	88 人 (100%)	67 人 (76.1%)	4 人 (4.5%)	14 人 (15.9%)	3 人 (3.4%)
健康医療 科学部	163 人 (100%)	108 人 (66.3%)	24 人 (14.7%)	31 人 (19.0%)	0 人 (0%)
合計	1147 人 (100%)	862 人 (75.1%)	132 人 (11.5%)	127 人 (11.1%)	26 人 (2.3%)
（備考）2021 年度入学生（除籍者・転科出はその他に記載）					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

（概要）授業科目、授業の方法、年間の授業計画について、授業計画書（シラバス）及び毎年作成する冊子「履修要項」、冊子「Campus Life Guide」、印刷及びホームページ掲載の時間割を作成し、展開するとともに、年度当初に行うガイダンスにおいても履修及び修学に関する指導を行っている。

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要)

学修成果の評価および基準については、学科毎にカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）にて学修成果の評価方法を定め、学則および履修規程等に基づき、筆記試験、論文、レポート、その他の本学が定める適切な方法を、授業計画書（シラバス）及び各科目担当教員の指示にて、予め明示し厳格かつ適正に運用を行っている。また卒業要件等は、履修要綱に明示し、成績評価において客観性・厳格性を担保する措置として、公開しているシラバスに評価項目と評価に対するその割合を明示の上、GPA制度を導入している。GPA制度については、冊子「Campus Life Guide」にてその制度の主旨と運用方法を開示し、成績の分布状況については「ホームページ」にて公表している。

ちなみに、GPA制度を用いた成績評価については、学科別・年次別成績優秀者表彰の選定、成績不振者（当該保証人）への通知文送付の判断基準として活用されている。

●GPA の評価別加重点

成績評価 (Grade)	加重点 (Point)
S (秀) 合格 基準点 100 点から 90 点	4 点
A (優) 合格 基準点 89 点から 80 点	3 点
B (良) 合格 基準点 79 点から 70 点	2 点
C (可) 合格 基準点 69 点から 60 点	1 点
E (不可) 不合格 59 点以下	0 点
X (受験放棄その他評価不可能な場合の不可) 不合格	0 点

※他大学等での単位取得「認定」（合格）があり、GPA制度の対象外としている。

●GPA の計算方法

$$\text{GPA} = (\text{各成績評価の加重点} \times \text{単位数}) \text{の合計} \div \text{履修単位数}$$

※小数点第 3 位を四捨五入する。

※再履修科目が合格した場合、当該不合格科目の履修単位数が分母から除外する。

学部名	学科名	卒業又は修了に必要な単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
工学部	機械工学科	124 単位	☒ ・無	(2023 年度以前入学) 48 単位 (2024 年度以降入学) 44 単位
	電気電子情報工学科	124 単位	☒ ・無	(2023 年度以前入学) 48 単位 (2024 年度以降入学) 44 単位
	応用化学科	124 単位	☒ ・無	(2023 年度以前入学) 48 単位
	応用化学生物学科	124 単位	☒ ・無	(2024 年度以降入学) 44 単位
情報学部	情報工学科	124 単位	☒ ・無	(2023 年度以前入学) 48 単位 (2024 年度以降入学) 44 単位
	情報ネットワーク・コミュニケーション学科	124 単位	☒ ・無	(2023 年度以前入学) 48 単位 (2024 年度以降入学) 44 単位
	情報メディア学科	124 単位	☒ ・無	(2023 年度以前入学) 48 単位 (2024 年度以降入学) 44 単位

	情報システム学科	124 単位	☒ ・無	(2024 年度以降入学) 44 単位
創造工学部	自動車システム 開発工学科	124 単位	☒ ・無	(2023 年度以前入学) 48 単位
	ロボット・エレクトロニクス学 科	124 単位	☒ ・無	(2023 年度以前入学) 48 単位
	ホームエレクトロニクス 開発学科	124 単位	☒ ・無	(2023 年度以前入学) 48 単位
応用バ ^イ 材科学部	応用バ ^イ 材科学科	124 単位	☒ ・無	(2023 年度以前入学) 48 単位
健康医療科学部	看護学科	124 単位	☒ ・無	(2021 年度以前入学) 42 単位 (2022 年度以降入学) 46 単位
	管理栄養学科	124 単位	☒ ・無	48 単位
	臨床工学科	(2022 年度以前入学) 136 単位 (2023 年度以降入学) 129 単位	☒ ・無	48 単位
G P A の活用状況（任意記載事項）		公表方法：毎年制作・発行する冊子「Campus Life Guide」内「履修・授業編」にて制度を紹介すると共に、「学科別・年次別成績優秀者表彰の選定基準」及び「成績不振者への通知基準」として用いている。		
学生の学修状況に係る参考情報 （任意記載事項）		公表方法：ホームページ（学生の学修時間・学修実態） https://www.kait.jp/about/information/ir/		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：ホームページ（施設紹介）

<https://www.kait.jp/about/equipment/>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考（任意記載事項）
工学部	機械工学科	工学部・情報学部 各学科共通 1 年次 1,370,000 円 2 年次 1,390,000 円 3 年次 1,410,000 円 4 年次 1,430,000 円	200,000 円	全学科共通 100,000 円	その他は休学時の学籍管理料
	電気電子 情報工学科		200,000 円		その他は休学時の学籍管理料
	応用化学 科		-		2024 年度より学生募集停止 その他は休学時の学籍管理料
	応用化学 生物学科		200,000 円		その他は休学時の学籍管理料
情報学部	情報工学科		200,000 円		その他は休学時の学籍管理料
	情報ネットワーク・コミュニケーション学科		200,000 円		その他は休学時の学籍管理料
	情報メディア 学科		200,000 円		その他は休学時の学籍管理料
	情報システム 学科		200,000 円		その他は休学時の学籍管理料
創造工学 部	自動車システム開発工学科	創造工学部 応用バイオ科学部 各学科共通 3 年次 1,410,000 円 4 年次 1,430,000 円	-		2024 年度より学生募集停止 その他は休学時の学籍管理料
	ロボット・メカトロニクス学科		-		2024 年度より学生募集停止 その他は休学時の学籍管理料
	ホームエレクトロニクス開発学科		-		2024 年度より学生募集停止 その他は休学時の学籍管理料
応用バイオ科学部	応用バイオ科学科		-		2024 年度より学生募集停止 その他は休学時の学籍管理料
健康医療 科学部	看護学科	1 年次 1,660,000 円 2 年次 1,680,000 円 3 年次 1,700,000 円 4 年次 1,720,000 円	200,000 円		その他は休学時の学籍管理料
	管理栄養 学科	1 年次 1,470,000 円 2 年次 1,490,000 円 3 年次 1,510,000 円 4 年次 1,530,000 円	200,000 円		その他は休学時の学籍管理料
	臨床工学科	1 年次 1,460,000 円 2 年次 1,480,000 円 3 年次 1,500,000 円 4 年次 1,520,000 円	200,000 円		その他は休学時の学籍管理料

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
（概要）クラス担任制を採り、クラス担任は欠席の多い学生の状況把握を行い、早期に問題解消に向けた助言を行っている。「IR・企画推進室」において学生に関わる全ての情報を集約・分析をおこない、その結果をクラス担任や関係部署へ情報提供し修学支援に活用している。また、多様な学習履歴を持つ学生の学習支援を行うため、基礎教育支援センターを開設し補完教育も行っている。加えて、学生によるピアサポート組織「KAITpia」（カイトピア）を設置し、授業のサポート、自主講座などを学生が主体となって活動し学び合いによる支援を行っている。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
（概要）キャリア就職課において就活全般に関するセミナー開講、業界・職種研究会実施、国家資格キャリアコンサルタント有資格者(7名)によるキャリアカウンセリング、専任職員による企業情報提供、インターンシップ窓口による学生-企業間のコーディネート、公務員対策室による選考試験対策講座、過去問解説提供、全ての学科に学科就職事務室を設置し、求人等の情報提供、地元ハローワークとの就職協定締結による学内相談会(毎月2回)実施等。
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
（概要）学生が相談しやすいように学生用相談窓口は複数設け、学生相談室、健康管理室、学生サポート室、クラス担任および学生課が窓口となり、学生相談の対応を行っている。また、健康診断時に心の変調を早期に把握するためのチェックテストを実施し、リスクの高い学生には学生相談室来室を勧奨している。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：ホームページ（情報公表） https://www.kait.jp/about/joho/
備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。